

平成 28 年度 保健師活動指針推進特別委員会事業報告

1. 活動テーマ

統括保健師が現在果たしている役割や課題を明らかにし統括保健師の配置を促進する。併せて保健師活動指針策定を推進する。

2. 目的

- ①統括保健師の配置状況・機能・配置に至る背景等の分析を行い統括保健師の配置を促進する。
- ②自治体における人材育成に関する取組事例の収集を行い、保健師としての専門能力の獲得やキャリア形成について明らかにする。
- ③保健師活動指針を策定した自治体の策定プロセスを明らかにし、策定に必要な手引きを作成する。

3. 実施状況

| 回 | 時 期 | 場 所 | 内 容 |
|---|-----------|----------------------------|--|
| 1 | H28年5月22日 | さいたま市 レンタルスペースホ リイ | 参加者：メンバー 内容：①活動方針の策定 ②指針策定に関する調査について検討 ③情報交換 |
| 2 | H28年6月18日 | 同上 | 参加者：メンバー 内容について：②指針策定に関する調査 項目について ③調査の手順等につい て |
| 3 | H28年9月18日 | 同上 | 同上：①調査結果について ②策定した自治体の情報収集について |
| 4 | H28年12月3日 | さいたま新都心駅 with you | 同上 |
| 5 | H28年1月21日 | 仙台市 仙台国際センター | 策定済自治体からの情報収集および手 引きの内容について検討 |
| 6 | H29年2月12日 | さいたま市 レンタルスペースホ リイ同上 | 内容：平成28年度活動のまとめ 報告書の検討 |

4. 結果

平成25年4月以降に保健師活動指針を策定した自治体は31自治体であった。調査の結果19自治体から回答が得られた。

統括保健師としての指針策定の決定、組織内の保健師の意思統一、将来の保健師活動に関するビジョン等を具現するために指針策定を行っている状況が把握できた。策定方法については検討会議やワーキンググループの設置等が挙げられ、情報を共有するための仕組みなどに自治体の工夫が見られた。また、指針を策定した評価や今後の課題についても把握できた。

今後、委員会の活動として、指針の策定状況の把握に努めるとともに、統括保健師としての役割、自治体のキャリアラダー・キャリアパスについても把握し、情報発信をしていきたい。

5. 委員

| | | |
|-----|-----|------------------|
| ○加藤 | 静子 | 埼玉県熊谷保健所 |
| 藤原 | 啓子 | 横浜市神奈川区福祉保健センター |
| 金子 | 恵子 | 千葉県香取健康福祉センター |
| 守屋 | 希伊子 | 埼玉県三郷市福祉部福祉総合支援課 |
| 大竹 | 美記 | 茨城県保健福祉部保健予防課 |